

# 大野原小学校

- 1 団体名 大野原小学校 緑の少年団
- 2 所在地 観音寺市大野原町大野原1905
- 3 団員数 全校児童（544名）
- 4 活動内容

大野原小学校は、徳島・愛媛の県境の山々から瀬戸内海までを含む広大な校区である。校区内にある五郷地区には、五郷小学校時代に杉やひのきを植林した学校林がある。自分たちのふるさとの良さを再発見する機会として、この学校林を活用した森林環境学習をはじめ、今年で13年目である。令和4年度は、全校児童544名（内5年生94名）で活動している。当初は、6年生が最高学年としてこの活動に参加していたが、近年では、社会科で林業の学習をする5年生に移行して継続している。

大野原小学校区育成会や地元ボランティアの協力を得て、日頃は体験できない貴重な活動を続けている。主な内容としては、高さ20m近くある木の間伐体験（切り目を入れた木を、ロープで引っ張り倒す）をしたり、チェーンソーを使った作業を見学したりしている。また、太く立派な木に、グループ毎の記念プレートを吊り下げるなどして、森林保全への先輩からの思いを後輩へつなぐ活動も行っている。そして、図画工作の時間には輪切りにした木を利用した作品づくりをし、それを校区内にある「ふるさと学芸館」に展示することで、学習の成果を地域の人々に紹介している。



【学校林の歴史や木の種類等の学習】



【道具を使っでの体験】



【ロープを引っ張り、間伐作業に挑戦！】



【ひのきの輪切り体験】

## 5 学校からの一言コメント

学校林の間伐活動を通して、森林の果たす役割等について学び、森林を大切にしたい思いを強くしています。また、輪切りにしたひのきを再利用し、各自のアイデアを取り入れた児童の作品を「ふるさと学芸館」に展示し、地域のよさを発信しています。